



通信

HP 学校だより
R4. 12. 23
NO. 33
文責 伊藤美佳



2学期を終えて

今日で2学期が終了します。どんなことが子どもたちの心に残っているでしょう。冬休みには、子どもたちとたくさん会話していただければうれしいです。子どもたちには聞いてもらいたい話題がたくさんあることと思います。

さて、今年度は創立150周年記念の年として多くの行事が行われ、子どもたちはコロナ禍以前に近い活動ができ、多くの経験ができたのではないかと思います。

先日、4年生が6年生にお礼の会をしていました。6年生を送る会には少し早いのですが、4年生が自分たちで考えたお笑い、ゲーム、お手紙、プレゼントで6年生をもてなしていました。お笑いは、「6年生が見せてくれて楽しそうだったから自分たちもやりたいと思ってやり始めた」とのこと。これこそ「あこがれ」の姿です。また、ゲームもお手紙やプレゼントも自分たちで考えたオリジナルのものでした。自分たちで考え、工夫して人を楽しませ、自分たちも楽しむ。こんな姿が目指せたらもっとも「豊坂笑楽校」に近づけると思いました。

また、6年生が自分たちの育てたナスを売ったお金で材料を買い、全校にナスピザを振る舞ってくれたり、ナスおじさんたちへの感謝の会の花束を買ったりしました。ひまわりの子どもたちも、自分たちが作った夏野菜を売ったお金で、誕生日会のお菓子を買いにいきました。残ったお金は募金することまで決めていました。最近よく、子どもたちから「お金」について学ぶことが大切であると聞きます。これは、キャリア教育でもあり、金銭感覚をみがく学びでもあると思っています。どんどん学びが深まっていくことを期待したいです。

「もう2学期が終わっちゃうの？」という子どもの声を聞きました。そう感じられる2学期であったことがうれしいです。3学期も豊坂っ子を温かく見守っていただければと願います。よいお年を。



地域の方より

◎保護者会のため子どもたちが一斉下校で帰っている途中、低学年の子が両膝をすりむきました。特に右の膝の傷は大きく、血が足下まで流れていました。持っていたばんそうこうを手渡そうとすると、けがをした子のお姉さんが受け取って手当をし、おんぶして帰り始めました。すると、上六栗の他の子どもたちが、お姉さんのかばんとけがをした子のかばんを持ってあげました。すごいチームワークだと思いました。だれも文句一つ言わず、助け合って中屋敷から上六栗まで帰っていきました。すばらしい子どもたちです。

地域の方からこんなことを言っていただきました。これも、いつも登下校の見守りをしてくださっているからだと思います。本当にありがとうございます。2023年も引き続き豊坂っ子を見守りをしていただけのことを切に願います。